託された未来をひらく
三井住友トラストグループ
100th Anniversary

資料３

サステナブルファイナンス有識者会議

サステナビリティ投資の実務等について

2024年12月12日

栗生 英之
【所属】
・一般社団法人投資信託協会　投資信託のESGに関する検討部会
・三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

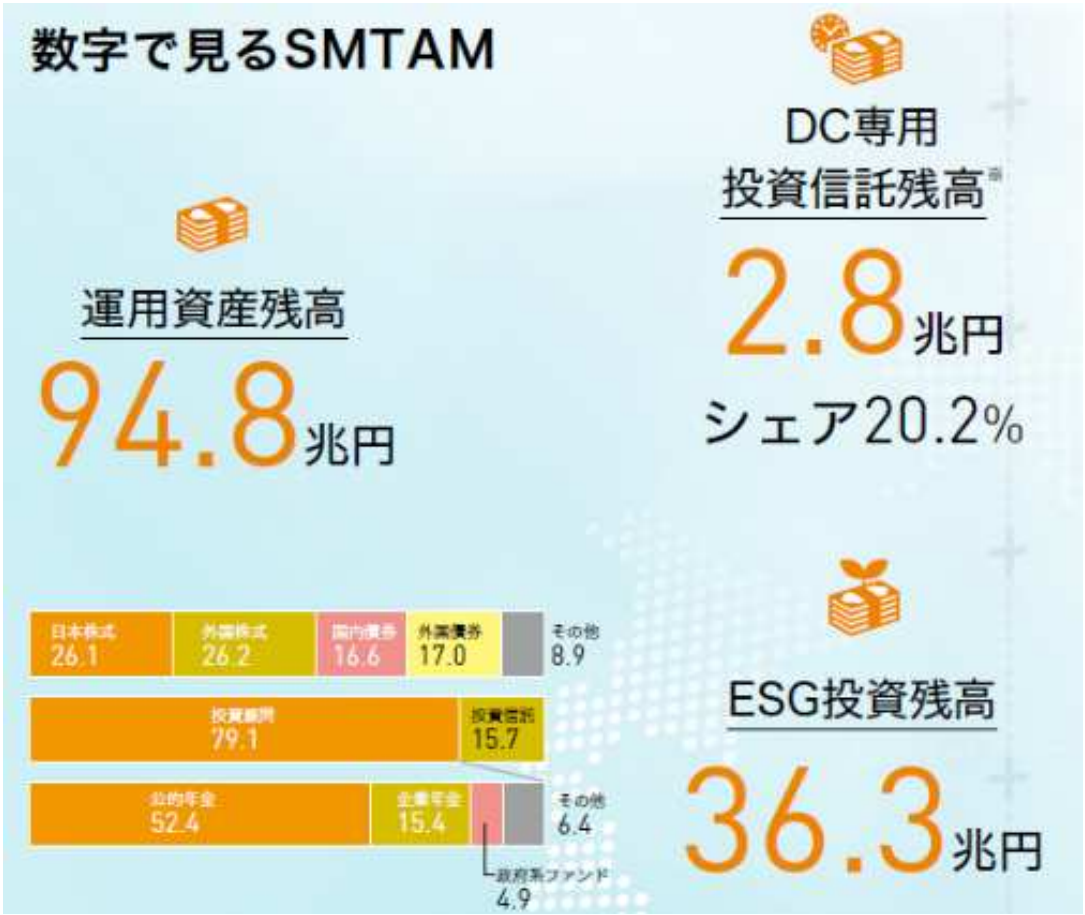
三井住友トラストグループ

未来の可能性を拓き、真に“豊かな”社会を育む。

私たちは、お客様一人ひとりと歩みをともにし、
同じ夢を追い求めながら、
未来に託す思いにこたえる資産運用の新しいカタチを
追求していきます。

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

三井住友トラスト・アセットマネジメント(SMTAM)



(出所)三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25(p5-6)

データは2024年6月末現在、もしくは2023年7月～2024年6月。ただし、※は2024年3月末現在

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

1 サステナビリティ投資の実務について

1. どのような投資目的の下、どのような投資手法を採用しているか
2. サステナビリティ投資を行う上で、サステナビリティ要素の考慮と投資収益の関係性について、どのように整理しているか
3. アセットオーナー・個人投資家それぞれに対するサステナビリティ投資商品の組成・提供・開示に当たって、どのような点を・どのように意識しているか
4. サステナビリティ投資商品の販売方針について、販売会社との間でどのようなコミュニケーションをとっているか

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

FD／お客さま本位の業務運営

- 日本版スチュワードシップ・コードを踏まえたエンゲージメント等への取組みや、ESGへの取組み等により、お客様の利益の最大化を目指します

三井住友トラスト・アセットマネジメントのFD行動計画

1. 資産運用の高度化

- 明確で合理性のある投資方針の策定や効果的なPDCAの実施により、適切な資産運用態勢を維持します。
- 日本版スチュワードシップ・コードを踏まえたエンゲージメント等への取組みや、ESGへの取組み等により、お客様の利益の最大化を目指します。
- お客様にとって最良の条件で取引を執行します。

2. お客様の多様なニーズに応える商品・サービスの開発提供

3. お客様本位の分かりやすい情報提供

4. 専門性の向上

5. 経営の独立性を確保したガバナンスの構築・強化

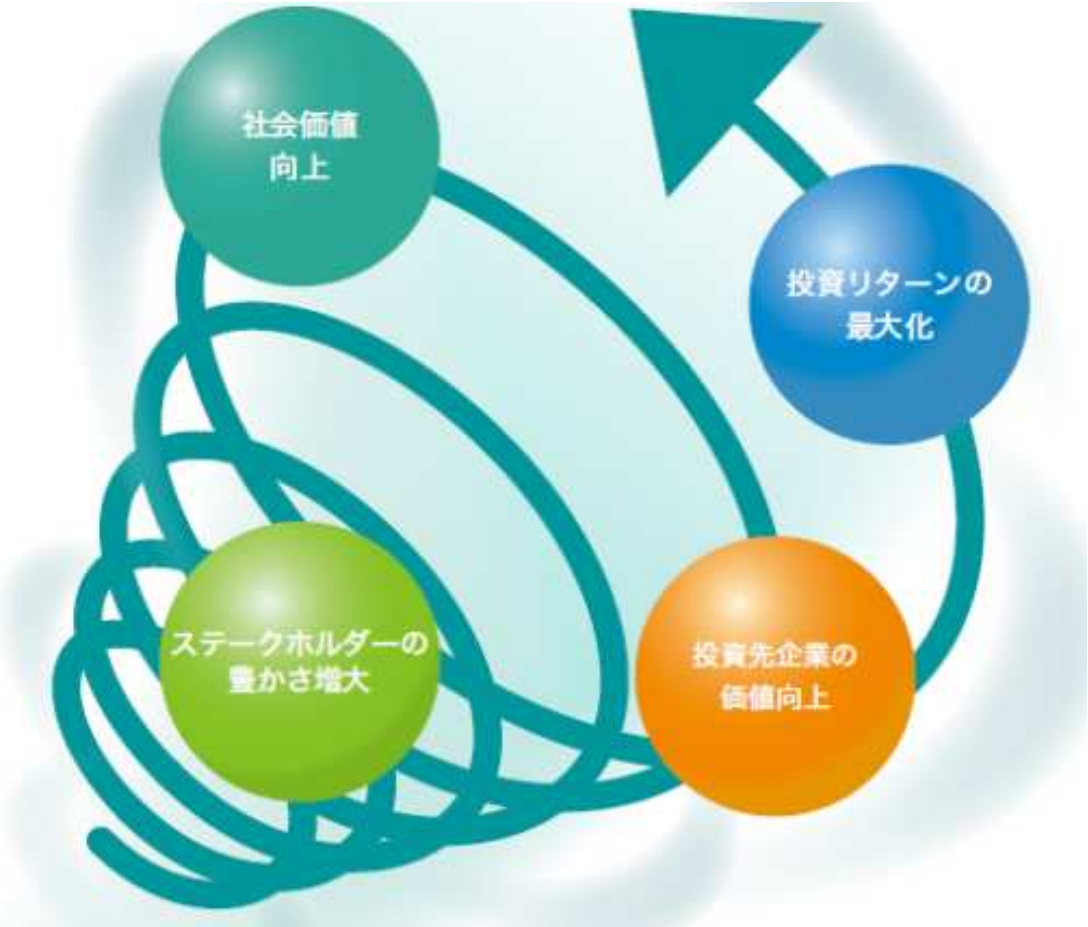
（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25（p11-12）

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

SMTAMの考えるESG投資

- ESG投資は、投資活動を通じてインベストメント・チェーンにおける資産運用会社としての役割を果たすことで、投資先企業の企業価値向上や持続的成長を促し、顧客（受益者）の中長期的な投資リターンの最大化やダウンサイドリスクの抑制、さらには持続可能な社会の実現に資すると考えています。

インベストメント・チェーンにおいて価値創造を支援する



＜ESG投資＞

投資先企業の
企業価値向上や持続的な成長を促す
↓
顧客（受益者）の
中長期的な投資リターンの最大化
ダウンサイドリスクの抑制

（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25（P15-16、p35-36）

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

ESG投資手法

- 運用する全ての商品においてESG投資を最大限考慮しています。顧客の投資リターンの最大化を図る責任、すなわちスチュワードシップ責任を果たすため、またサステナブルな経済・社会を実現するためにESG投資を行い、適切なモニタリングとディスクロージャーを行います。なお、ESG投資を行うに当たっては「ESGマテリアリティ」を考慮しています。

ESG投資手法

区分		ESG投資手法	定義
ESG投資	ESG インテグレーション	①ESGネガティブスクリーニング	非人道的な兵器の製造や国際規範への抵触など、ESGの観点で著しい問題のある企業等を、一定の基準で投資先から除外します。
		②ESGポジティブスクリーニング	各セクター内でESG評価が高い企業等に積極的に投資します。
		③ESGに関する情報のインテグレーション	ESGを含む非財務情報を分析・評価して得た知見を、各ファンドの銘柄選択、およびポートフォリオ構築のプロセスに明示的かつ体系的に組み込みます。
		④テーマ投資	ESGに関するテーマを設定し、それに関連する企業等を中心に組み入れるファンドを組成し運用します。
		⑤インパクト投資	経済的な投資収益とともに、ESGの観点で社会に対してポジティブなインパクトを与えることを明示的な目的としたファンドを組成し運用します。
	アクティブオーナーシップ	⑥エンゲージメント	ESGのテーマについて、企業等にベストプラクティスを求める機会として、投資先企業等との建設的な対話を通じて中長期的な価値向上を図ります。
		⑦議決権行使	投資先の議決権行使において、議案への賛否にESGの要素を反映させることを通じて、投資先にミニマムスタンダードの実現と価値向上を図ります。

(出所)三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25(p15-16)

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

SMTAMのスチュワードシップの三つの柱

- 「エンゲージメント」「議決権行使」「投資の意思決定におけるESGの考慮」を三つの柱としてスチュワードシップ活動を推進しています。
- 三つの柱の基盤となるのがSMTAMのESGマテリアリティであり、全ての活動にこれを考慮します。

三つの柱

エンゲージメント	当社では、エンゲージメントを 「企業にベストプラクティスを求める機会」と位置づけ、 中長期的な企業価値向上に資する意見表明を行っています。
議決権行使	当社では議決権行使を 「ガバナンスのミニマム・スタンダードを求める機会」と位置づけ、 ガバナンスに関する意見表明手段の一つと考えています。
投資の意思決定におけるESGの考慮	当社は投資先企業に対しESG課題に取り組むことを促し、かつそれをサポートすることによって、 企業価値棄損の限定化、事業機会化を通じた企業価値増大 を図ります。

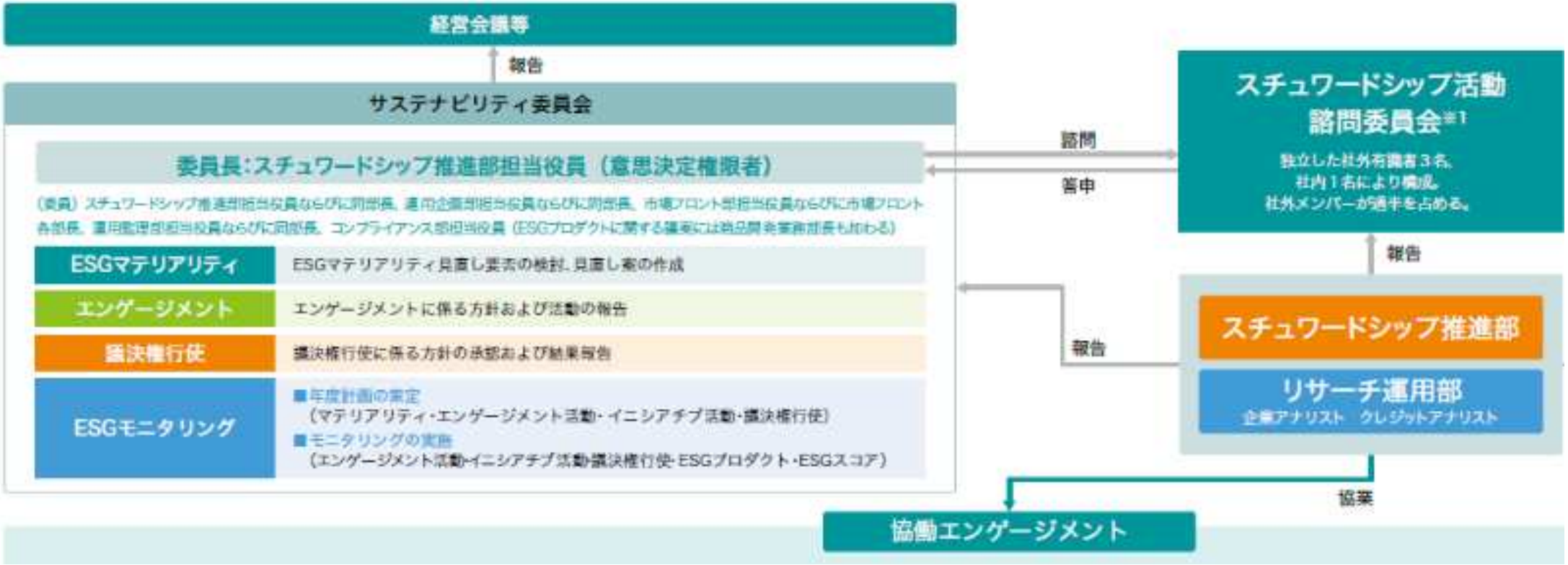
(出所)三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25(p61-62)

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

スチュワードシップ活動の推進体制

- スチュワードシップ活動は、スチュワード活動全般を審議する「サステナビリティ委員会」（月次開催）、独立した社外有識者が過半を占める「スチュワードシップ活動諮問委員会」（四半期開催）において報告・審議する仕組みとしています。
- 取締役会、経営会議、FD諮問委員会に対し、スチュワードシップ活動について報告を行っています。

推進体制



（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25（p63-64）
※1：過去の議事録については当社ウェブサイトをご参照ください

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

SMTAMのESGマテリアリティ

- 当社では12の「ESGマテリアリティ」を特定しています。
- 投資先の価値向上や持続的成長を後押しするうえで当社が重要と考えるESG課題であり、投資先のESG評価および、エンゲージメントや議決権行使判断に当たって考慮するものです。

ESGマテリアリティと重点活動項目

環境

気候変動	1	温室効果ガス排出量の削減
自然資本	2	水資源・森林資源・生物多様性回復
汚染・廃棄物	3	持続可能な調達（パーム油、天然ゴム、木材等）、海洋プラスチック問題、廃棄物削減
環境関連機会	4	環境貢献製品・サービス売上拡大
	5	資源循環型ビジネスモデルへの移行

社会

人権とコミュニティ	6	サプライチェーン上の人権問題
	7	環境負荷・労働環境、化学物質管理、紛争鉱物
	8	公正な移行
人的資本	9	人材戦略（人材育成・採用・配置・評価）
	10	従業員エンゲージメント
	11	ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン
	12	働き方改革
安全と責任	13	ウェルビーイング
	14	医薬品へのアクセス・感染症対策・抗生物質管理
	15	安全管理
社会関連機会	16	社会関連製品・サービス売上拡大
	17	持続可能な地域社会インフラ

ガバナンス

企業行動	18	非財務（ESG）情報開示促進
	19	資本政策・資金使途の明確化
	20	資本効率・資本コスト・ポートフォリオ変革
	21	パーパス経営、ミッション・ビジョン・バリューと経営戦略の整合性
安定性と公正さ	22	不祥事・再発防止（製品サービスの安全、組織風土改革）
	23	リスクマネジメント（情報セキュリティ）
	24	政策保有株式
	25	買収防衛策
	26	親子上場・大株主との関係、グループガバナンス
	27	サプライチェーン再構築（地政学・地形学リスク対応）
組織設計	28	取締役会構成・スキルセット
	29	ダイバーシティ経営の推進
ガバナンス改善	30	取締役会の実効性（独立社外の役割発揮・取締役報酬制度・後継者計画）

（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25（p45-46）

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

投資の意思決定におけるESGの考慮

- 当社では、原則、全資産の投資ユニバースに対して自社ESGスコアを付与しています。自社ESGスコアは、国や企業等に対してESG課題が与える機会やリスクへの影響を分析し、投資家視点で付与する当社の投資評価指標です。
- 国内株式および国内債券の運用においては、MBIS®を活用しています。MBIS®は、ESG要素も含む非財務情報を活用した、企業の中長期的な持続的成長性を評価する当社独自の仕組みです。

ESGを投資の意思決定に考慮する流れ

M	経営 Management	経営層(チェック項目5個)
		組織力(チェック項目5個)
B	事業基盤 Business Franchise	差別化要因(チェック項目5個)
		顧客基盤(チェック項目3個)
I	市場動向 Industry	市場成長性(チェック項目2個)
		競争環境(チェック項目5個)
S	事業戦略 Strategy	投資の巧拙(チェック項目5個)
		撤退の巧拙(チェック項目2個)

(出所)三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25(p105-106)

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

投資の意思決定におけるESGの考慮

- 当社では、原則、アクティブファンド（株式・債券）ではESGを考慮した銘柄スクリーニングを行います。
- その後、各資産、各投資戦略ごとの特性に応じてMBIS®や自社ESGスコアを投資判断に反映します。

投資判断への反映

（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25（p63-64）

※3：スクリーニングの結果は前年比1社減の8社で限定的です（2024年6月末現在）。
Anhui Great Wall Military Industry Co., Ltd.、LIG Nex1 Co., Ltd.、Poongsan Corp.、POONGSAN HOLDINGS Corp.、SNT DYNAMICS Co., Ltd.、SNT Holdings Co., Ltd.、China Aerospace Science & Technology Group Co., Ltd.、Israel Aerospace Industries Ltd.

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

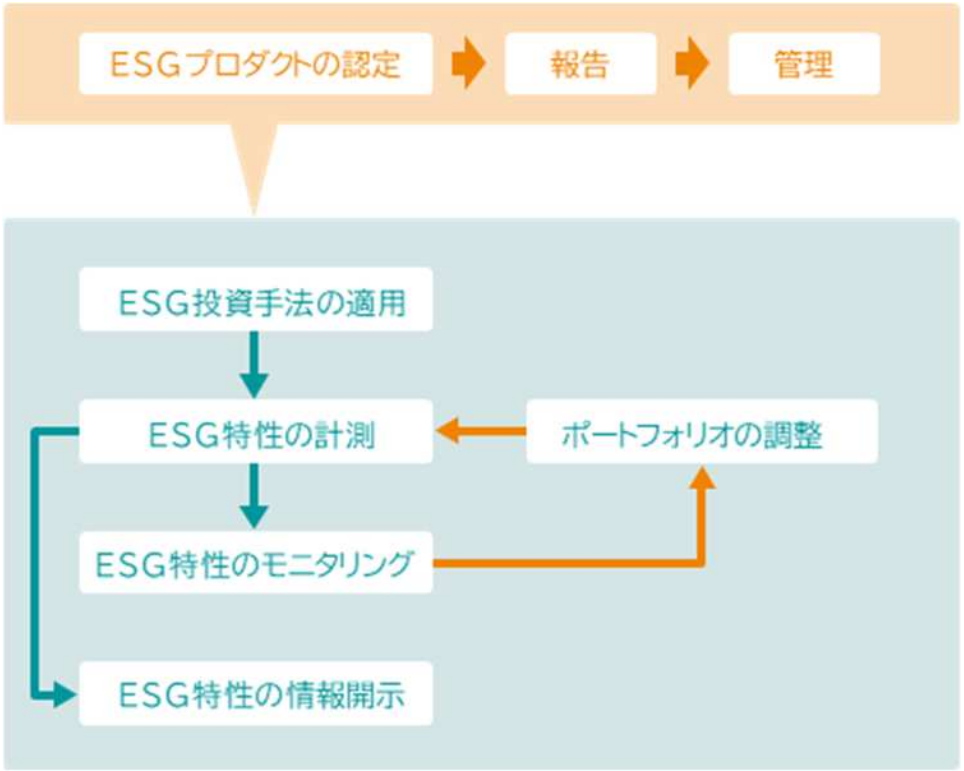
ESGプロダクトの認定

- プロダクトガバナンスの高度化を目的に、グローバルなESG投資関連規制の視点も考慮し、「ESGプロダクト」の認定を行っています。
- ESGプロダクトとは、「ESG投資手法の適用」「ESG特性とその測定」「ESGに関する適切な開示」の3つの要件を満たすプロダクトを指します。

ESGプロダクトの認定

区分		定義
3つの要件	ESG投資手法の適用	ポートフォリオの特性に応じ適切なESG投資手法を用いそれを運用プロセスにおいて明示的かつ体系的に組み込むこと。
	ESG特性とその測定	ポートフォリオがESG特性を有し、そのESG特性が測定可能であること。
	ESGに関する適切な開示	ESG特性の測定結果を含む当該ポートフォリオについてのESGに関する適切な開示を行うこと。

ESGプロダクトガバナンス



(出所)三井住友トラスト・アセットマネジメント　サステナビリティ レポート2024/25(p15-16)

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

ESGプロダクトの認定

- 公募投資信託では6ファンドをESGプロダクトと認定しています。

公募投資信託におけるESGプロダクト

投資対象	投資手法	ファンド名	備考	NISA成長投資枠	ESG投資手法*							ESG特性の測定
					ESGインテグレーション					アクティブオーナーシップ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
国内株式	アクティブ	SRI・ジャパン・オープン（愛称：グッドカンパニー）		○	○	○	○	○		○	○	自社ESGスコア
国内株式	アクティブ	日本株式SRIファンド		○	○	○	○	○		○	○	
国内株式	アクティブ	DCグッドカンパニー（社会的責任投資）	DC専用		○	○	○	○		○	○	
国内株式	パッシブ	DC日本株式ESGセレクト・リーダーズインデックスファンド	DC専用		○	○				○	○	ESG指数へのトラック
海外株式	パッシブ	DC外国株式ESGリーダーズインデックスファンド	DC専用		○	○				○	○	
国内株式	パッシブ	SMT ETFカーボン・エフィシェント日本株	ETF	○	○		○	○		○	○	

＊①ESGネガティブスクリーニング、②ESGポジティブスクリーニング、③ESGに関する情報のインテグレーション、④テーマ投資、⑤インパクト投資、⑥エンゲージメント、⑦議決権行使

（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

ESGプロダクトにおける開示

- 投資家の誤認防止の観点から、公募投資信託は全ファンドについて、目論見書にてESG投信に該当するか否かを開示しています(「ESG投信です」 or 「ESG投信ではありません」)。

目論見書における開示

ESG投信に該当する場合の開示例
(SRI・ジャパン・オープン)

商品分類		
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)
追加型投信	国内	株式

属性区分			
投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態
その他資産(注)	年1回	日本	ファミリーファンド

(注)投資信託証券(株式 一般)
※商品分類及び属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(https://www.toushin.or.jp/)をご覧ください。

ESG分類
ESG投信です

ESG投信に該当しない場合の開示例
(次世代通信関連 世界株式戦略ファンド)

商品分類		
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)
追加型投信	内外	株式

属性区分				
投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
その他資産(注)	年1回	グローバル(日本を含む)	ファンド・オブ・ファンズ	なし

(注)投資信託証券(株式 一般)
※商品分類及び属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(https://www.toushin.or.jp/)をご覧ください。
※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

ESG分類
ESG投信ではありません

(出所)三井住友トラスト・アセットマネジメント

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

ESGプロダクトにおける開示

- ESGプロダクトについては、ESG投信に関する「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」を踏まえて、投資対象選定の主要な要素となるESGの具体的な内容、運用プロセス、ポートフォリオ特性等を目論見書にて開示しています。

目論見書における開示例（SRI・ジャパン・オープン）

監督指針の項目	掲載場所	掲載内容（一部抜粋）
①顧客誤認の防止	表紙裏	ESG分類：ESG投信です
②投資戦略　イ 投資対象選定の主要な要素となるESGの具体的内容	ファンドの目的・特色	ファンドの特色1：CSR（企業の社会的責任）を積極的に果たす企業に投資します。 • 企業の社会的責任（CSR）を重視した投資手法により運用を行うSRI（社会的責任投資）ファンドです。 • CSRとは、企業が社会や環境と共存し、持続可能な成長を図るため、積極的に責任を果たしていくことをいいます。 • 企業は利益を上げること（経済的責任）に加え「環境的責任」「社会的責任」「法的責任」（ESG）を果たすことが求められています。 • 銘柄選定にあたっては、経済的責任に加えESGを投資対象選定の主要な要素としています。
②投資戦略　イ 投資対象選定の主要な要素となるESGの具体的内容	ファンドの目的・特色	投資対象選定の主要な要素となるESGの具体的な内容について • 重要なESG課題を12項目からなる「ESGマテリアリティ」として特定しています。SDGsなどを考慮し、当社が行う投資先のESG評価、エンゲージメント活動や議決権行使判断などに反映しています。そしてこれらESG評価、及びエンゲージメント活動・議決権行使はいずれも当ファンドに活用、あるいは適用されています。
②投資戦略　ロ 運用プロセス	ファンドの目的・特色	ファンドの特色3：中長期にわたって安定的な成長が期待できる銘柄を選別します。 • CSR（企業の社会的責任）を「環境的責任」「社会的責任」「法的責任」（ESG）、そして「経済的責任」の4つの評価軸から多面的に評価します。 • ESG評価では、持続可能性に向けた重要な課題と考える12のESG評価項目を設定し、定量評価と定性評価を組み合わせてESGスコアを算出、セクター毎にスコアの高い銘柄を投資対象銘柄候補としています。

（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

ESGプロダクトにおける開示

監督指針の項目	掲載場所	掲載内容（一部抜粋）
②投資戦略　ハ 制約要因やリスク	投資リスク	ESGの投資リスク ファンドは、ESGを投資対象選定の主要な要素としており、ESG評価が相対的に高い企業の発行する有価証券を選別して組み入れます。 ESG評価と短期的な有価証券の値動きには必ずしも関連性があるわけではありません。また、ESG評価がファンドの収益源となる場合もありますが、損失が発生する要因となる場合もあります。
②投資戦略　ホ スチュワードシップ方針	ファンドの目的・特色	当社のスチュワードシップ活動の概要を記載 ホームページへのリンク（2次元バーコード）を記載
③ポートフォリオ構成	ファンドの目的・特色	自社ESGスコアについて • 自社ESGスコアは、顧客（受益者）の中長期的な投資リターン（投資収益）の最大化やダウンサイドリスクの抑制を目的として、国や企業等に対してESG課題が与える機会やリスクへの影響を分析し、投資家視点でESGの観点から付与する当社の投資評価指標です。 • 当社が重要と考えるESG課題（ESGマテリアリティ）を評価項目として、定量・定性の両面から総合的に評価し、1（最低）～5（最高）で表したもので、このスコアを使用して組み入れを検討します。 当ファンドとTOPIXの各構成銘柄のESGスコア分布（グラフ）を掲載

（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

2 サステナビリティ投資の実務・投資商品に関する課題等について

1. アセットオーナー・個人投資家それぞれに対するサステナビリティ投資商品の組成・提供・開示に関する実態・課題について、どう考えているか？
2. 海外（EU・英国・米国・アジア等）におけるサステナビリティ投資商品等に関する取組みも踏まえつつ、サステナビリティ投資や投資商品に関して、どのような方法での共通理解（何がサステナビリティ投資なのか等）を醸成していくことが望ましいと考えるか。

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

金融リテラシー高度化活動 “ワタシもはた楽 オカネもはた楽”

- 当社は、投資を通じて社会の発展に貢献し、そのプロセスから得られる達成感や資本主義経済のダイナミズムを体験することが、投資家の長期的視野と積極性を養うために重要であると考えています。
- そのために必要とされる金融に関する情報をさまざまなカタチで提供し、投資家の裾野の拡大を目指しています。

授業プログラムの一例（SDGs重視型プログラム）

未来に向けて投資を学ぼう！
～投資と社会・SDGsの関連について～

授業のポイント

- 未来のためにお金の大切さを知り、お金を得る方法について知る
- 投資のもつあなた自身や社会を豊かにするしくみを理解する
- SDGsの課題解決に取り組む企業に投資が役立っていることを知る

SDGs 重視型プログラム

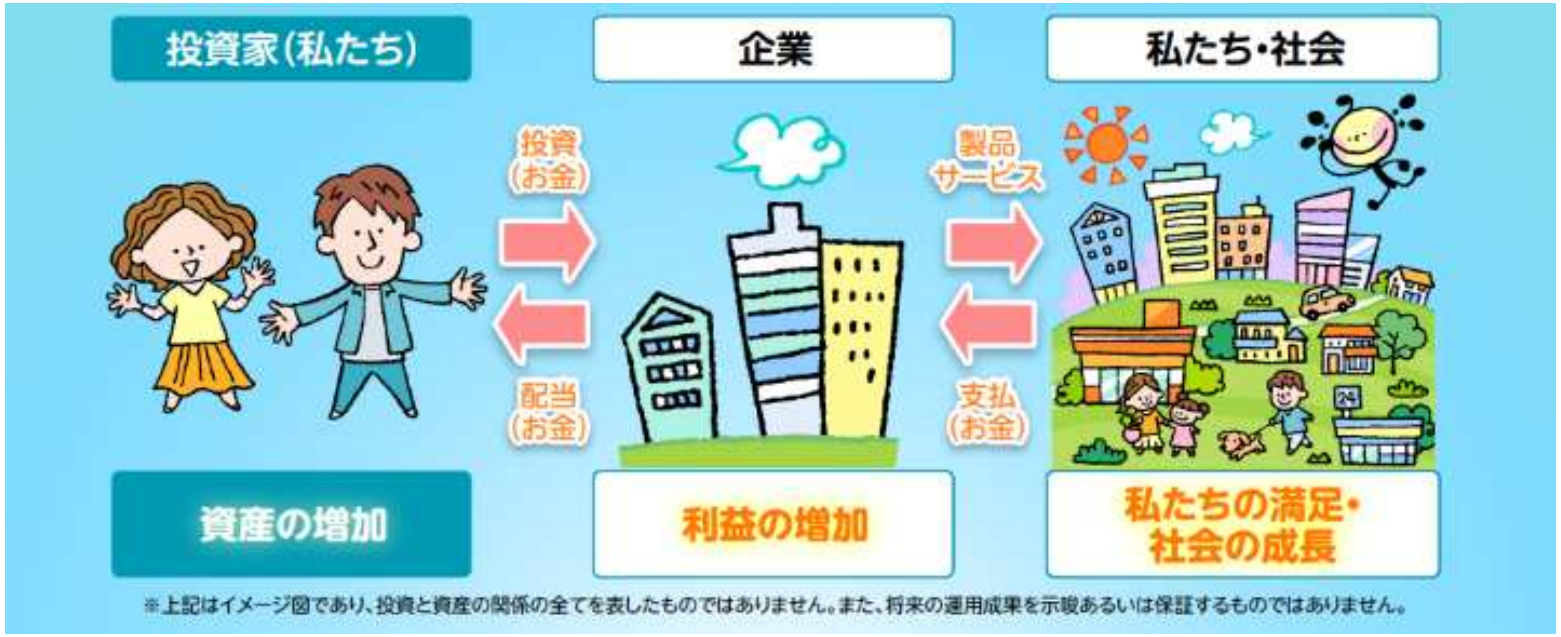
項目	時間	授業内容	ワーク・その他
一部	15分	お金の大切さとお金を得る方法を考えよう ・自分のなりたい未来をかなえるにはどんな準備が必要？ ・お金を得る方法とは。自分がはたらくこと、お金にはたらいてもらうこと？	■ワーク （未来のために）どんな準備が必要？ ■発表
二部	10分	投資のもつ自身や社会を豊かにするしくみについて学ぼう ・投資に対するイメージって何ですか？ ・自分に投資することも投資？ ○×で考えてみよう！ ・投資により資金を得た企業により、あなた自身も社会も豊かに！	■○×クイズ
三部	20分	SDGsと投資の関係について学ぼう ・資金を得た企業による課題解決の取り組みとは ・課題に取り組む企業を探そう！ ・投資はみんなを楽しく豊かにしてくれるもの	■ワーク 課題に取り組む企業を探そう！ （タブレット使用） ■発表

（出所）三井住友トラスト・アセットマネジメント サステナビリティ レポート2024/25（p25-26）

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

金融リテラシー高度化活動 “ワタシもはた楽 オカネもはた楽”

授業スライドの抜粋



(出所)三井住友トラスト・アセットマネジメント

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.

【ご留意事項】

- 当資料は、サステナブルファイナンス有識者会議向けに参考情報の提供を目的として、三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 一部、投資信託に関する情報が掲載されていますが、投資勧誘を目的とした資料ではありません。また、特定の金融商品や銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。

© 2024 SUMITOMO MITSUI TRUST GROUP, INC. All rights reserved.